

これからのまち・みちのあり方をみんなで考えよう！

# 尾張町地区まち・みち検討委員会 かわら版

## 創刊号

平成20年4月 尾張町地区まち・みち検討委員会事務局

### ●尾張町地区まち・みち検討委員会がスタート！

金沢駅周辺や武蔵ヶ辻周辺の開発が進み、金沢のまちなかが大きく変わろうとしている今、尾張町地区の今後のまちづくり・みちづくりの方向を検討するため、平成20年3月14日、「尾張町地区まち・みち検討委員会」が発足しました。

創刊号となる今回のかわら版では、尾張町地区のまち・みちを検討する主旨や検討の体制、検討の流れなどについてお知らせします。

▼第1回検討委員会・考える会の様子  
(H20.3.14、ITビジネスプラザ武蔵にて)



### ●「尾張町地区」の範囲は？

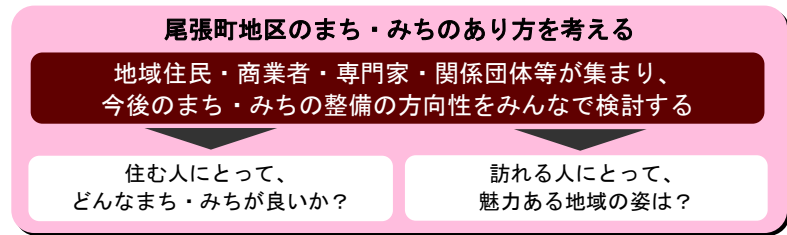
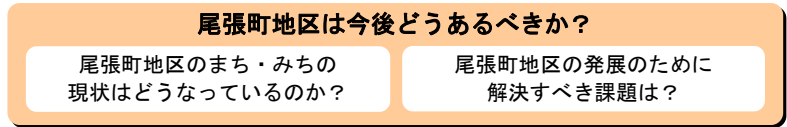
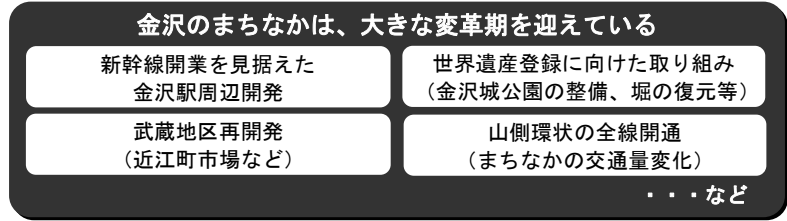
「尾張町地区」の範囲は下の図に示す通りです。再開発が進む近江町や、こまちなみ保存区域である旧新町、旧町名復活の袋町、惣構堀の発掘調査が進む橋場交差点周辺、かつて金沢城の表玄関であった大手門・大手堀等を含む約40ヘクタールを対象範囲とします。



## ●なぜ「尾張町地区」を検討するの？

尾張町地区は、金沢の商業の中心として古い歴史を有する地区であるとともに、金沢駅～金沢城公園・ひがし茶屋街・卯辰山寺院群などの主要観光資源を結ぶ重要な位置づけにあります。

現在、武蔵地区の再開発や、金沢城公園を中心とする世界遺産登録に向けた取り組みが本格化中、平成26年の北陸新幹線金沢開業を控え、尾張町地区は、金沢の新たな顔としてふさわしいまち・みちのあり方を考えていく時期を迎えています。



## ●検討を進めていくための組織は？

尾張町地区のまち・みちを考えていくための組織体制としては、「尾張町地区まち・みち検討委員会」－「尾張町地区のまち・みちを考える会」－「事務局」の3つの組織を設置します。それぞれの組織の役割については右の表をご覧ください。

組織	役割
尾張町地区まち・みち 検討委員会	◇尾張町地区のまちづくりのあり方を検討するとともに、共通の目標像を持ってまちづくりの方向性を検討・提案する組織
尾張町地区のまち・みち を考える会	◇尾張町地区のあるべき姿やまちづくりの方向性について素案を検討する組織(検討委員会の下部組織)
事務局	◇まち・みちのあり方に関する検討に必要な資料を作成する。 ◇検討委員会及び考える会を運営し、意見調整等を行う。

## ●これからの検討の流れは？

尾張町地区のまち・みちのあり方については、概ね3つのステップで検討を進めます。なお、この流れはあくまでも現時点での想定であり、今後、検討委員会や考える会での議論の進捗に応じて進めていきます。





## ● 検討委員会及び考える会のメンバーは？

検討委員会及び考える会のメンバーは以下の  
方々です。なお、第1回検討委員会において、  
委員長には、金沢大学大学院自然科学研究科の  
高山純一教授が選任されました。交通計画や道  
路計画、P I\*（ピーアイ）を専門とする高山委  
員長のもと、地域の皆さんの意見を踏まえなが  
ら、検討を深めていきます。

※P I（Public Involvement：パブリック・インボルブメント）  
とは、計画・構想段階から地域住民をはじめとする関係者が  
議論に参画し、情報を広く公開した上で、みんなで意見を出  
し合い、計画に反映していく手法のことを言います。

▼学識者の方々

（左から屋敷委員・高山委員長・神谷副委員長）



### ■ 尾張町地区まち・みち検討委員会メンバー（平成20年3月現在） ■

	分類・所属	氏名	備考
学識経験者	金沢大学大学院自然科学研究科教授	高山 純一	◎委員長
	金沢大学文学部教授	神谷 浩夫	○副委員長
	金沢市立玉川図書館近世史料館	屋敷 道明	
地域住民	味噌蔵町校下町会連合会 会長	隅谷 六良	
	材木町校下町会連合会 会長	気谷 博次	
	松ヶ枝地区町会連合会 会長	河合 達男	
沿道商業者	尾張町商店街振興組合 理事長	高橋 徹	
	武蔵商店街振興組合 理事長	中島 祥博	
	橋場町振興会 理事長	橘 修一	
	近江町市場商店街振興組合 理事長	荒井 角男	
道路利用者	北陸鉄道株式会社 取締役自動車部長	宮岸 武司	
	西日本ジェイアールバス株式会社 金沢支店長	三田村 信一	
	社団法人石川県トラック協会 事務局長	安田 誠治	
	石川県タクシー協会 交通委員長	岩本 道成	
国土交通省	国土交通省金沢河川国道事務所長	蓮見 有敏	
石川県	石川県参事・プロジェクト担当	植田 剛史	
石川県警	石川県警察本部 交通部 交通規制課長	西本 憲二郎	
金沢市	金沢市都市整備局長	坂戸 正治	

### ■ 尾張町地区のまち・みちを考える会メンバー（平成20年3月現在） ■

	分類・所属	氏名	備考
オブザーバー	金沢大学文学部教授	神谷 浩夫	○副委員長
地域住民	味噌蔵町校下町会連合会 大親会	小島 宗能	
	味噌蔵町校下町会連合会 下今町町会	木村 清二	
	材木町校下町会連合会 常盤町睦会	油谷 徳次	
	材木町校下町会連合会 橋場町町会	西田 太喜雄	
	松ヶ枝地区町会連合会 下堤町町会	相川 正壽	
	松ヶ枝地区町会連合会 袋町町会	山口 邦行	
沿道商業者	尾張町商店街振興組合	武部 守男	
	武蔵商店街振興組合	不室 康昭	
	橋場町振興会	金子 福夫	
	近江町市場商店街振興組合	浅井 清治	

## ●会議はどれくらいのペースで開催するの？

「尾張町まち・みち検討委員会」は2～3ヶ月に1回、「尾張町地区のまち・みちを考える会」は1～2ヶ月に1回のペースで議論を進める予定です（現時点での想定であり、今後の議論の進捗等に応じて進めていきます）。

### 第1回検討委員会・考える会での主な意見

- ◆冒頭、国土交通省金沢河川国道事務所の蓮見所長は、検討の主旨を述べるとともに、山側環状開通後も尾張町地区の交通量はあまり変化しておらず、国道159号の渋滞等の課題や市道では区内を通過するだけの車両が多い現状に触れ、「まち・みちのあり方について、地域の皆様のご意見をうかがいながら解決策を探っていきたい。」と挨拶しました。
- ◆金沢大学大学院の高山教授は、委員長就任の挨拶で、「今までは行政が一方的に説明し事業を進めてきたが、それではみんなが納得いく事業を行うことは難しい。この委員会は、地元の方々や道路利用者、行政等が一体となって、みちだけではなくまちづくりも含めた今後のあるべき姿を探っていく役割を持っている。非常に難しい計画づくりになると思うが、忌憚のない意見を頂戴したい。」と述べられました。
- ◆地域住民代表からは、「国道159号は拡幅する前提で検討を進めるのか。」との質問がありました。これに対し事務局は、「国道159号については戦前の都市計画がかかっており、拡幅することになっている。しかし、沿道には歴史的な建物が残っており、住民の方々の生活もある。都市計画のとおり拡幅すべきかを含め、皆さんとともに考えていきたい。」と回答しました。その他、「歩道が狭い」「駐輪対策が必要」「歩行者や自転車の通行量の調査をすべき」などの意見が出されました。
- ◆屋敷委員からは、「藩政時代はこの尾張町がメインストリートであり、香林坊や片町よりもこちらが先に繁栄していた。そのことに自信と誇りを持って、かつての賑わいを取り戻し、活気ある地域づくりの検討を進めてほしい。」と激励の言葉をいただきました。また、高山委員長より、「メンバーが男性のみとなっている。まち・みちづくりを考える上で、女性の視点からの意見は大変重要なので、地元町会から女性委員の推薦をお願いしたい。」との指摘があり、今後、考える会のメンバーとして女性委員を追加することが決まりました。最後に、金沢市都市整備局の坂戸局長の閉会挨拶で終了しました。
- ◆今後、まずは現状と課題を洗い出し、検討の下地づくりを進めていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願い致します。



### お問い合わせ先

#### 尾張町地区まち・みち検討委員会事務局

- ・国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課  
TEL：076-264-8800（代） FAX：076-233-9631 Mail：kanazawa-chou2@hrr.mlit.go.jp
- ・金沢市都市整備局道路建設課  
TEL：076-220-2316 FAX：076-260-6921 Mail：douro@city.kanazawa.lg.jp
- ・金沢市都市整備局都市計画課  
TEL：076-220-2351 FAX：076-222-5119 Mail：tokei@city.kanazawa.lg.jp